

経営協議会の学外委員からいただいた意見等に対する取組状況

平成23年度

分野	学外委員からの意見等	意見を頂いた 経営協議会	取 組 状 況
新学部設置構想について	<ul style="list-style-type: none"> ・新学部では、海外体験実習をより多くしてはどうか。 ・コミュニケーション能力を培える大学であって欲しい。 ・カリキュラムの内容について、学生が積極的に学ぼうとするものが必要ではないか。 	<p>第37回 (平成23年4月28日)</p>	<p>新学部において必修とする海外連携大学への留学は、当初は半年としていたが、意見を受けて半年から1年程度とした。半年から1年程度留学することにより、実践的英語力が飛躍的に伸びることが期待できる。</p> <p>コミュニケーション能力として、実践的英語力のほか、ICT活用能力、社会心理学、行動科学など多面的・総合的なコミュニケーション能力を養成するカリキュラムを考えている。</p> <p>本構想の中で一つの大きな柱である課題解決能力の育成において、少人数による演習形式の授業により、1年次から4年次まで一貫した個人指導を行うこととしている。テーマを学生自身で見つけ、仮説をたて、情報を収集・分析し、仮説の検証を通して解決策を自ら導き出す能力を養うこととしている。</p>
大学院・学生定員の見直しについて	<ul style="list-style-type: none"> ・山口大学の特徴を出すために大学院、専攻の改革を行う必要があるのではないか。 	<p>第38回 (平成23年6月16日)</p>	<p>平成18年に行った理系大学院の改革では、融合専攻を設置し、教育・研究面で多くの成果が挙げられている。現在検討している理系大学院の再編においては、3つの研究科を1つの研究科とすることで、本学の特徴である融合分野をさらに発展させたいと考えている。</p>